

だい ぶんかつ みんえい かそし
第2の分割・民営化阻止を

まんにん いか けつごう あべだとう せんそうこつかいふんさい
1000万人の怒りと結合し安倍打倒・戦争国会粉碎しよう

みんしゅろうそう れんたい しゅうかい
民主労総ゼネスト連帯6・28集会へ

ぜんがくれん よ こつかいほう いとうそう あんぼ せんそうほうあん あべせいけん たい
全学連が呼びかけた6・15国会包囲闘争は、安保=戦争法案と安倍政権に対する
いか と はな しゅうじつ たたか あつとうてき うぬ がつ えきぜんめん
る怒りを解き放ち、終日の闘いとして圧倒的に打ち抜かれた。7月JR駅全面
がいちゅうか こうげき あんぼ せんそうほうあん ふんさい ぜんこく どうろうそれんごう けんせつ
外注化の攻撃と安保=戦争法案を粉碎し、全国に労働総連合を建設して、ゼネ
じつけん かくめい しょうり き ひら みんしゅろうそう
スト実現からプロレタリア革命の勝利を切り開こう。6・28民主労総ゼネスト
れんたいだいしゅうかい せんそう かいけんそし だいしゅうかい そうけっしゅう せんそうぜつたいはんたい
連帯大集会と戦争・改憲阻止7・5大集会に総結集しよう。戦争絶対反対の
せんまんにん いか そしき あべせいけん だとう
1千万人の怒りを組織し、安倍政権を打倒しよう！

がつ えきぜんめんがいちゅうか てんせき かいこぜつたいそし
7月JR駅全面外注化=転籍・解雇絶対阻止を

がつ こくてつけっせん きじく あんぼ こつかいけっせん みんしゅろうそう れんたい
6～8月は国鉄決戦を基軸としながら、安保国会決戦や民主労総ゼネスト連帯
だいけっせん れんぞく どう はんどう げきとつ あ
をはじめ大決戦の連続である。それは動と反動が激突せめぎ合う、すさまじい
しどうせん せんまんにん いか かた けつごう かくめい せ
死闘戦である。1千万人の怒りと固く結合し、ゼネストとプロレタリア革命へ攻
め上ることこそ、労働者と革共同の進むべき道だ。

とうめん がつ えきぜんめんがいちゅうか そし たたか かくめい
とりわけ当面する7月JR駅全面外注化阻止の闘いこそ、プロレタリア革命
せいひ だいけっせん がついたち ひがしにほん ちばてつどう
の成否をかけた大決戦である。7月1日からJR東日本が千葉鉄道サービス(CTS)
みとてつどう たかさきてつどう がいちゅうか
、水戸鉄道サービス(MTS)、高崎鉄道サービス(TTS)に外注化して
えきぎょう む ひがしにほん がいちゅうか
いたいた駅業務が、JR東日本ステーションサービス(JESS)という別会社
さいへん ぶんかつ えきぎょう む にな ろうどうしゃ
に再編・分割される。CTS、MTS、TTSで駅業務を担っていた労働者には
てんせき きょうせい がいちゅうか てんせき あら だんかい
JESSへの転籍が強制される。JRの外注化は「転籍」という新たな段階

はい
に入る。JESSの労働条件は、5年目、10年目、15年目に5千円から8千円
ていき しょうきゅう かい
の定期昇給が3回あるだけだ。

ろうどうしゃ てんせき たいしょく かいこ せま おおはばちんさ きょうせい
労働者に「JESSへの転籍か、退職(解雇)か」を迫り、大幅賃下げを強制
ぜつたい ゆる えき ぜんめんがいちゅう か ぜんえき たいしおう えき
することは絶対に許せない。駅の全面外注化はJR全駅が対象になっていく。駅
ひがしにほん しりょう けんさしゅうぜん おこな しょくば ひがしにほんうんゆ
だけではない。JR東日本は、車両の検査修繕を行う職場もJR東日本運輸
サービス(JETS)に再編しようとしている。JR東日本からCTSに出向
ひがしにほん さいへん しゅっこう
になっている労働者に、今度はJETSへの転籍が問題になるということだ。

ひがし えきぜんめんがいちゅう か とつぱこう しゃしよう うんてんし ふく てつ
JR東はこの駅全面外注化を突破口に、車掌や運転士も含めたすべての鉄
どうぎょう む ぶんしやか がいちゅうか ねら だい ぶんかつ みんえい か こう
道業務を分社化・外注化することも狙っている。まさに第2の分割・民営化攻
げき ほんかくか
撃の本格化だ。

ぜんろうどうしゃ ひせいき こよう つ お だいこうげき ぜんめんがい
これはJRの全労働者を非正規雇用に突き落とす大攻撃である。JR全面外
ちゅうか てつどう ゆそう あんぜん さいごてき ほうかい ろうどうしゃじんみん いのち だいもん
注化は鉄道輸送の安全を最後的に崩壊させる。労働者人民の命がかかった大問
だい ぜんめんがいちゅうか こくてつぶんかつ みんえい か しゃかい
題だ。しかも全面外注化はJRだけにとどまらない。国鉄分割・民営化は社会
ぜんたい みんえい か ひせいき しょくか ぜんいんかい こ しんがいしや
全体に民営化・非正規職化をもたらした。「いったん全員解雇、新会社による
せんべつさい こよう こくてつがたかい こ ほうしき おお ろうどうしゃ おそ
選別再雇用」という「国鉄型解雇方式」が多くの労働者に襲いかかった。

ひがし てつどう じぎょう ぶんしやか がいちゅうか ろうどうしゃ てんせき かいこ てい
JR東が鉄道事業のすべてを分社化・外注化し、労働者を転籍と解雇、低
ちんぎん ひせいき こよう つ お ぜんろうどうしゃ おな こうげき おそ
賃金と非正規雇用に突き落とすことは、全労働者にそれと同じ攻撃が襲いかかる
いみ じちたいまる みんえい か ゆうせい きょういく そう ひせいき しょくか いつき
ことを意味する。自治体丸ごと民営化や、郵政や教育の総非正規職化も一気に
げきか こくてつぶんかつ みんえい か ろうどうしゃ はけんほうせいでい ittai おこな がつ
激化する。国鉄分割・民営化が労働者派遣法制定と一体で行われたように、7月
えきぜんめんがいちゅうか どうじ しょうがいはけん しょうがいひせいき こよう きょうせい ろうどうしゃは
JR駅全面外注化と同時に「生涯派遣」「生涯非正規雇用」強制の労働者派
けんほうかいあく こつかい きょうこう
遣法改悪が、国会で強行されようとしている。

きせいかいかくかいぎ がつ にち かいこ きんせんかいけつkin せいど どうにゅう とうしん き
さらに規制改革会議は6月16日、「解雇の金銭解決金」制度導入の答申を決
め、安倍政権に提出した。金を払えば労働者を解雇できる「解雇自由」の大攻撃

だ。安倍は J R 資本を先兵に全労働者への解雇自由・総非正規職化に踏み切った。その最大の激突点が 7 月 J R 駅全面外注化攻撃だ。

どうろうそれんごう けんせつ さんぎょうほうこくかい か やぶ
動労総連合の建設で産業報国会化うち破れ

あべせいきん しほん えきぜんめんがいちゅう か かいこじゆう そうひせいきしょく か こうげき
安倍政権・J R 資本による駅全面外注化と解雇自由・総非正規職化の攻撃
じょうばんせんせんかいつう ふくしまあっさつ きかんきょううせいこうげき あんぼ せんそうほうあん かいけんこう
は、常磐線全線開通による福島虐殺・帰還強制攻撃や安保=戦争法案・改憲攻
げき いittai にってい あべねら ぜんめんがいちゅう か かいこじゆうこうげき ろうどううんどう
撃と一体だ。日帝・安倍の狙いは、J R 全面外注化や解雇自由攻撃で労働運動
かいたい せんそう かいけん ちょうへいせい げんばつ すいしん ていこくしゆ ぎろうどううんどう じく さん
を解体し、戦争・改憲・徵兵制や原発を推進する帝国主義労働運動を軸に「産
ぎょうほうこくかい
業報国会」をつくることにある。

さいだい しょうてん どうろうちば どうろうみと かいいたいこうげき
その最大の焦点が、動労千葉や動労水戸への解体攻撃である。ブルジョアジ
ざつし せんたく がつごう どうろうちば ひがし おに こ がん なざ
一の雑誌『選択』5月号は、動労千葉を「J R 東の鬼っ子、癌(がん)」と名指
はいじよ かいしゃ もんだい どうろうちば かいいたい さけ
しし、「排除できない会社に問題がある」などと、動労千葉を解体すべきだと叫
ぎやく い どうろうちば どうろうみと たたか いま かいきゅううべき
んでいる。これは逆に言えば、動労千葉や動労水戸の闘いこそが今や階級的
しゆりゅうは こくさく はたん おこ しほん にってい あべ かさい きょうふ
主流派であり、国策を破綻に追い込み、J R 資本と日帝・安倍=葛西らを恐怖
ぞこ こ
のどん底にたたき込んでいるということだ。

ぜつたいはんたい かいきゅううべきだんけつ たたか かいきゅううべきろうどううんどう みんえいか がいちゅうか そうひせい
絶対反対と階級的団結で闘う階級的労働運動が、民営化・外注化、総非正
規職化や、戦争・改憲、辺野古新基地建設、原発再稼働、そして賃下げ・生活破壊
いか ろうどうしやじんみん けつごう かくめい げんじつ
に怒る労働者人民と結合したとき、ゼネストやプロレタリア革命が現実のものと
なる。このことに敵は震え上がっている。

がつ えきぜんめんがいちゅう か たいせい さいご てき ほうかい せいねんろうどうしや せんとう
7月 J R 駅全面外注化は、J R 体制の最後的な崩壊と、青年労働者を先頭に
ぜん ろうどうしや いか けつき からら う だ かいきゅううべき いか けつ き むす
した全 J R 労働者の怒りの決起を必ず生み出す。この階級的な怒り・決起と結
どうろうちば はんごうりか うんてんほあんとうそろせん どうろうみと ひばくろうどうぜつたいはんたい
びつき、動労千葉の反合理化・運転保安闘争路線と、動労水戸の被曝労働絶対反対

たたか
の闘いを、すべての JR 職場でともに闘い、動労総連合を東京一全国に建設
し、絶対に勝利を開こう。

こくてつけせん
さらに国鉄決戦と一体で、自治体・教労・郵政をはじめ全産別で、階級的労
働組合を打ち立てよう。動労総連合と合同・一般労組全国協を先頭に、ストラ
イキで闘える労働組合をつくり、ゼネストと革命へ進もう。

かん
この間、青年労働者を先頭に労組権力獲得に向け組合役員選挙が全国で闘わ
れています。階級的労働運動派が外注化・非正規職化絶対反対、戦争法案絶対
反対で立候補していることに、体制内執行部は「絶対反対を叫んでいても進みま
せん！」なるビラをまき、敵対している。だが安倍政権や資本の攻撃に対し、絶
対反対で闘う以外に労働者人民の未来はない。しかも動労千葉や動労水戸が示
しているように、絶対反対の闘いでこそ労働者は無限の力を爆発させ、階級
的団結をつくり出すことができる。安倍政権やブルジョアジーが一番恐れている
のは、労働者人民が絶対反対で立ち上がることなのだ。

しほん
資本・当局や体制内執行部と絶対反対を貫いて闘う党派闘争こそ、職場の
労働者の怒りと結びつき、階級的団結を組織する力となる。労働者は絶対反対
で闘う労働組合を求めている。自分の職場で断固闘いぬこう。

にほんけいざいはめつふかひあべからだとう
日本経済破滅は不可避 安倍は必ず打倒できる

がつ
7月 JR 駅全面外注化阻止を先端とする職場での資本との絶対反対の激突
かんこく
は、韓国・民主労総ゼネストと連帶する闘いであり、戦争法案を阻止する力だ。
しほくば
職場で仲間を組織し 6・28 集会と 7・5 集会に大結集しよう。
あんぽほうせい
安保法制をめぐって、自分たちが推薦した憲法学者からも「違憲」を突きつけ

られた安倍は追い詰められ、通常国会の会期の大幅延長を画策すると同時に、打倒された橋下らと野合し、維新の党を引き込み、戦争法案の成立強行を狙っている。だがそんな策動など、労働者人民の怒りにさらに激しく火をつけるだけだ。

今や労働者人民は、安倍が言うことなどまったく信用していない。集団的自衛権行使の安保法制は、日本が再び血を流して戦争する国になる歴史の転換点だと感じて、怒りの決起を始めている。しかも日本経済の破滅と崩壊は、今やカウントダウンに入った。国債と株価のバブル崩壊はいつ起きてもおかしくない。新自由主義と「アベノミクス」の破綻は、日本帝国主義の経済・社会をいたるところで崩壊させ、安倍政権を締め上げている。今や安倍を打倒し、ゼネスト実現とプロレタリア革命勝利の歴史的情勢が到来している。

勝利の道は、動労千葉や動労水戸のような階級的労働組合を、動労総連合の全国的建設の推進を軸に、全産別でつくり出すことだ。職場に根をはった非合法・非公然の労働者党をつくり出すことだ。そのために、機関紙『前進』の購読と、革共同への圧倒的な夏期カンパを心から訴えます。

闘う労働者と学生は革共同に結集し、6～8月の決戦とともに闘おう。